

鳴門市通学路交通安全プログラムに基づく合同点検実施候補箇所図 (第一中学校 ※撫養小学校一部含む その1)

①歩道が非常に狭い。

(対策内容)

登校時の教員による見守り

一列通行の指導を徹底 ☆学校



⑤左折車が急いで進入してくるため、危険である。

歩道がポコポコで、いびつな形をしている。

頻繁に高い草が生えて、見通しが悪い。

(対策内容)

歩道の大きな凹凸は、補修材を用いて修繕 ☆市土木課



④見通しが悪い。

自転車を確認せずに横断する。

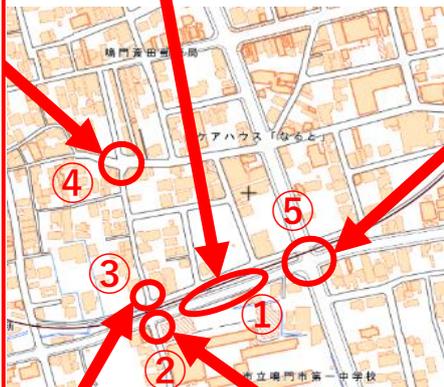
(対策内容)

クロスラインの設置

☆市土木課

車から認知されやすくするため、横断歩道を渡るように指導

☆学校



③横断歩道、信号がなく、通行量が多いため、危険である。

(対策内容)

ここでは渡らず、校門前の横断歩道を渡るように指導

☆学校



②見通しが悪い。

(対策内容)

カーブミラーの角度調節
指導停止線の設置

☆市土木課



⑥交通量が多く、警察署側から来た車が左折する際に、横断歩道の歩行者を巻き込みそうになる。

(対策内容)

信号が点滅したら、渡らないように指導

歩行者優先でも、自分の目で確認してから横断するように指導

☆学校

見通しをよくするため、土壌部分にアスファルトを舗装し、防草処理を実施

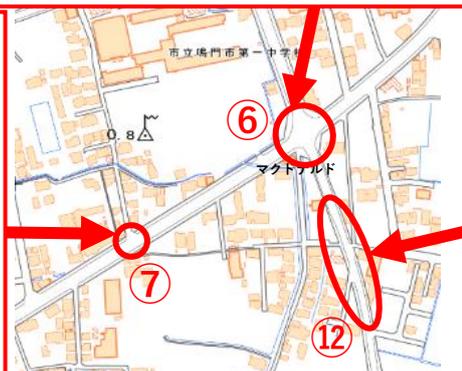
☆徳島河川国道事務所



⑦見通しが悪い。

(対策内容)

指導停止線の設置 ☆市土木課



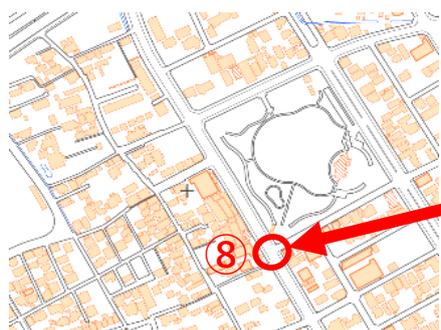
⑫木の枝が出ており、自転車に乗っているとちょうど顔の高さになり、当たってしまう。

(対策内容)

街路樹の枝を切る ☆市公園緑地課
歩道の除草 ☆市土木課



鳴門市通学路交通安全プログラムに基づく合同点検実施候補箇所図 (第一中学校 ※撫養小学校一部含む その2)



⑧一時停止線に停車すると視界が悪いためか、止まらず前まで進んでくる車両が多い。

(対策内容)

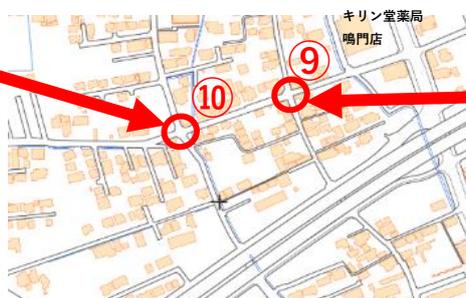
車の進入の危険性があることを示し、横断時は徐行するように指導 ☆学校



⑩自転車と車の接触の危険がある。

(対策内容)

クロスラインの設置 ☆市土木課
確認のため、カーブミラーを利用するように指導 ☆学校



⑨自転車と車の接触の危険がある。

(対策内容)

※ハード面の対策済み
交差点進入前に一旦停止する指導の徹底 ☆学校



⑪青信号の時間が短く、歩行者が渡りきれずに、危険である。

(対策内容)

※設定時間は、適正である。
信号が点滅している場合、無理に渡らず待つように指導 ☆学校



⑬歩道が狭い。特にバス停のあたりは、自転車1台分の幅しかないで、すれ違うこともできない。

車道との段差もあるので、落ちると危険。

通行量も多いので、車道に降りた自転車も危険な状態である。

(対策内容)

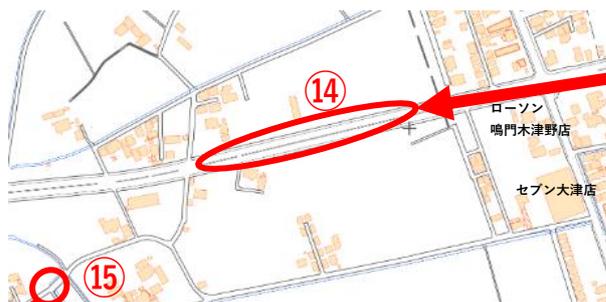
※バス停に並ぶ人がいても、幅は十分ある。
※段差を設けることで、安全を確保しており、段差の解消はできない。

一列で通行するように指導
歩道は歩行者優先のため、人がいて危険と感じるときは、無理に通ろうとせず、自転車を降りて押すように指導 ☆学校



☆学校

鳴門市通学路交通安全プログラムに基づく合同点検実施候補箇所図 (第一中学校 ※撫養小学校一部含む その3)



⑭街路樹や雑草が多く、歩道を通行しづらい。

(対策内容)

街路樹の枝を切る

☆県東部県土整備局



⑮道路が曲がっていて、非常に見通しが悪い。

(対策内容)

※カーブが緩いため、カーブミラーの設置による効果が見込めない。

北側の歩道のある県道など、できるだけ広い道を選ぶように指導

回避行動が取りやすいようにゆっくり

徐行しながら通行するよう指導

☆学校



⑯歩道が非常に狭い。

小学生、中学生が通学に使っているため、通行量が多い。

(対策内容)

旧道を通るなど、他の選択枝も検討

歩道の中の車道側を一列でゆっくり通るように指導

※学校



⑰歩道が狭い上、小中学生の通行量も多い。

樹木や雑草が生えて、歩きにくい。

(対策内容)

計画的に除草を実施

☆市土木課

